

## ご質問等への回答

### 1 ワークショップの進め方について

- このワークショップが地域のまちづくりも検討する場なのであれば、検討対象とする施設の幅を広げ、民間施設や自然資産などについても話し合うべきではないか。
- これまでも大山地域のまちづくり計画を市と住民とで話し合ってきた。大山行政サービスセンター周辺については既に要望も出しているので、そういった過去の経緯や提案内容も踏まえた上でワークショップの検討を進めてほしい。

今回のワークショップは、大山地域に立地している公共施設のあり方について検討することを主眼としております。

大山地域の公共施設について考えるにあたって、まちづくりの視点や、地域を取り巻く自然資産、また、公共施設以外の民間商業機能などの生活基盤機能に関するご意見を踏まえて考えていくことは非常に重要であると考えていますので、ワークショップではこうしたことに留意しながら段階的に議論を進めることとしております。

地域の課題として出していただいたご意見は、リーディングプロジェクトの複数の案を評価する際の評価の視点として活用していく予定です。

なお、個別にいただいたご意見は、関係部局に伝達させていただきます。

- 説明を受けたが、ワークショップで話し合う公共施設の範囲やどの程度深く話せばよいのかがわからない。議論の準備をしきれていないところもある。
- 色々な立場の方々からの意見が聞けたのは良かったが…余りにも広範囲に渡っていたのでどの様に集約していくのか疑問。(ふりかえりシートより)
- 全体討議の場が最終フェーズであっても良いのではと思います。(ふりかえりシートより)

前回のワークショップでお示したとおり、このワークショップでは4つの段階を踏んで議論を進めていきます(資料3 進め方とスケジュール)。

各回、議論する内容を2から3点に絞ってご議論いただき、最終的には「地域別実行計画」と「リーディングプロジェクト」の複数案の絞込みをして、評価の結果を比較表としてとりまとめます。

ワークショップでは、毎回、各班での議論の内容をファシリテーターから全員に報告することにより、参加者全員の議論の内容を共有することとしておりますので、各班において、全体の議論の内容も把握しながら、最終段階まで、議論を積み上げていただきたいと考えております。

- これからの地域を担う若者や子育て世代や人口の多い大庄地区からの参加者が少ないのが気になる。ワークショップへの参加が難しいのなら他の機会を作って、多様な意見を吸い上げ、反映してほしい。
- 女性の出席者が少ないことに疑問。(ふりかえりシートより)
- 一般の人の意見の集め方について。(ふりかえりシートより)
- いろいろな世代を交えて話しをするのも良いが、同じ年代や子育て世代など、グループを世代で分けて議論するとより深い意見が出て面白かったのではないかと思います。(ふりかえりシートより)

ワークショップでは、各回の議論の積み上げで成果をとりまとめます。グループは原則として固定し、グループ内での議論を深めていただきたいと思います。

このような理由から、ワークショップのメンバーの変更や、追加募集については実施しない予定としておりますが、オープンハウスやニュースレターを活用して、参加者以外の方からもご意見を募集していきます。

ニュースレターは地域の各世帯に配布することにしております。オープンハウスでは、地域の多くの方が訪れる場所で、ワークショップでご議論いただいた内容をパネルにまとめて解説、展示し、皆様からご意見をいただきます。

## 2 公共施設マネジメントの取り組みについて

- 富山市としては大山地域などの周辺地域よりも富山駅周辺に居住を推進したいと考え、そこに力を入れているように感じる。

本市では、今日の人口減少・超高齢社会を見据え、市街地の拡大と低密度化による割高な行政コストの増大、過度な自動車依存による公共交通の衰退といった課題に対応するため、早い段階から「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を進めてきました。

コンパクトなまちづくりの実現に向けては、「公共交通の活性化」、「公共交通沿線地区への居住推進」、「中心市街地の活性化」を施策の3本柱として取り組んできております。

中心市街地は都市の顔であり、都市のイメージを印象付ける重要な拠点であり、経済活動の中心でもあるため、その機能を維持していくことが必要です。

一方、公共交通沿線地区においては、居住の誘導や公共交通の活性化により、日常生活に必要なサービスを享受できる環境を維持することが重要であると考えております。

それに向けて、富山市立地適正化計画に基づき、日常生活に必要な機能やサービスの誘導策を検討するとともに、地域生活拠点から都心地区を結ぶ公共交通の維持・向上や、コミュニティバスなどの生活交通の維持にも取り組んでまいりたいと考えております。

今回のワークショップで地域の皆様のご意見を伺いながら、大山地域におけるまちづくりや拠点整備について、よりよいものにしていきたいと考えております。

- 複合施設の先進事例を知りたい。その際、特定の方向に誘導されないように幅広く事例を選んでほしい。

複合化についてイメージをお持ちいただけるよう「複合化・集約化事例集」を作成しました。全国の先進地を中心に、今後の議論に役立ちそうな公共施設複合化事例をまとめましたので、ご活用ください。